

大とよはし新報

ふるやま
古山よしはる活動報告



BIG TOYOHASHI NEWS

暮らしと絆を守り、郷土の価値と誇りを高め、数えきれない恩「ありがとう」を未来へー

いまを生きる人々の横の絆と、先人から子や孫への縦の絆を大切に、より良い豊橋を考えます。

日日は好日

（来る日も来る日も、楽しく平和なよい日が続くこと。日々を大切に生きる心構え）古山の日々の活動や思考をブログからピックアップして掲載します。

2022豊橋まつり、ファインナルは終日で吉田城PR！ 2022.10.16

古山の所属する当会（NPO吉田城復元築城をめざす会）ブースは例年、大工組合さんのスペースを間借りしています。
美博の駐車場ということで、造形パラダイス等の親子の往来がめちゃくちゃ多い！もう息づく間もなく甲冑体験や解説が続きます。



笑顔の溢れるブース（右の武者姿が本人）



意外と女の子のほうが積極的

照れ顔や得意顔、お子さんも親御さんも、そこには笑顔しかありません。幼児から中高生、お父さんお母さんまで、実に多くの方々、楽しんでながら吉田城を認知して下さいました。

ご来場頂いた皆様、心より御礼申し上げます。着席補助からこまめな消毒等を務めて下さった会員の皆様、誠に以てお疲れ様でした！

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご覧ください。



郷土にとり如何にあるべきかー豊橋新アリーナ、フェアで公正な判断のために 2022.12.9

先日は住民投票を志す藤田茂樹氏（新アリーナ建設反対の方）より懇切丁寧なお話を伺い、今日は一献交わしつつ建設を志す川西裕康氏（新アリーナを求める会代表）にその想

(2022年)
令和4年 - 通年号

編集・発行
古山よしはる後援会

〒440-0013
愛知県豊橋市西小鷹野一丁目13番地7
代表 (0532) 73-5758
Mail: info@furuyama4486.jp
HP: http://furuyama4486.jp

活動報告は各SNSで行っています
Twitter・Facebook・instagram

いを伺っています。よくよく何うと何れにも頷ける点があります。大切なのは郷土にとり如何に在るべきかです。今、中日新聞を始めメディア



藤田氏とは豊城地区市民館の住民投票を求める署名会場で

の取り上げる方向性は偏りつつあります。何故なら賛否に対する人々のアクションに偏りがある（賛成派の意見が埋もれている）からです。



川西氏とは広小路の紀文さんで

従って、殊に賛同したる市議会与党の皆さんをはじめ建設を求める人々にあつては、賛意に至った想いや対論、そうした声をしかと挙げて頂きたいと切に願います。市民の公正

な判断のために。無論メディアにあつては議論を深化させるべくフェアに掘り下げ、社会に於ける公器としての責務、市民からの負託を全うして頂きたいと加えて願います。今、サイレントマジョリティー（静かな多数者）は置き去りです。

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご覧ください。



今度の日曜は陸上自衛隊豊川駐屯地の皆さんと合同清掃ボランティアです。 2022.11.1

私がこの陸軍墓地という、一般的にあまり知られていない場所の清掃奉仕に携わることになった切掛は、あれは平成20年頃のことです。早くも10数年が経ちました。

来年90になる父から東京大空襲（実家は東京の下町です）や戦死した伯父のことなど、幼少期から戦争の話や度々聴いて育ちました。父は友らの父母よりもずっと年上でしたが、私の世代では珍しい体験のように思います。

父のリアルな話は目の前の「今」が当たり前であった私に於いて、大きな衝撃の連続でした。心の深いところに戦争の悲劇、誰かのために、祖国のためにと散った人々への尊崇の念は深く刻まれ、成人してからも各地の戦争遺跡等には強い関心を持つて来ました。

ひよんなことから「東田町に陸軍の設置した墓地がある」という話を耳にします。近所にそんな場所があることに驚き、機会を見つけて当地へ足を運んでみると、住宅街の中心にある公園と、その隣にひっそりと佇む墓地。綺麗な公園とは対照的に手入れのされていない木々が墓地全体を鬱蒼と覆い、草は伸び墓石は朽

ちつつあります。

参拝者向けに建てられたであろう東屋にはタバコの吸い殻や空き缶が散乱。何とかか薄気味悪いような決して近寄りやすい場には見えませんでした。ふと見るとその片隅、一つの墓碑に鮮やかな一輪の花が手向けられていました。ご遺族でしょうか。放置され、荒れた墓地を目にしてのご参拝、その胸中は如何ばかりでしょう。

子や孫の、妻や両親の、掛け替えない郷土のためにと命を懸けて戦い無念にも亡くなられた人々が祀られています。私たちの「今」は、その尊い犠牲の上にあります。

戦前「国のため、故郷のために頼む」そう頼られ、多くの人に手を振られ、送り出された人々です。墓地



市電前畑駅から徒歩5分
豊橋陸軍墓地にて

毎月第一日曜の13時から定例清掃の惨状を目にし、胸が締め付けられるような思いでした。それから10余年、思い通ずる友

とほんの数人で始めた清掃奉仕が、今では毎月、実に多くの方と共に出来ることとなりました。念願であったご英霊の「後輩」である自衛隊の皆様との合同清掃も実現しました。今回はその第4回目の実施です。

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご覧ください。



自衛隊愛知地方協力本部より感謝状を拝受しました。身に余る光栄です。
2022.12.1

街中で「おっ！君、いい身体してるねえ。どうだい自衛隊？」なんて声掛けはしませんか？自らの活動の中で少しずつPRや募集をしてきました。



翌日の東愛知新聞に掲載される

自衛隊は昭和29年の創立以来、戦後レジームゆえの様々な批難に堪え、陰ながら我が国を支えて来ました。自衛隊の前身、警察予備隊から現在までの殉職者は2054柱。事にあたっては自らの身を顧みずと宣誓し、正に命を懸けての任務です。国民の理解に変化が見られたのはこの20年ほどでしょうか。殊に数々の災害派遣に於ける懸命な姿が、今の国民からの大きなエールに繋がっています。

災害派遣は重要な役割ながら、自衛隊の本来任務は国の防衛です。それは国家存立の最も根源的な要であり、正に国民の最後の砦といえます。豊川市のように「駐屯地のある地域」は普段から見聞きする情報に富み、地域交流も多いことから人員募集はスムーズと仄聞します。一方で豊橋は：予てより（裏面へ続く）

(表面より) 苦勞する地域と謂われて
来ました。より一層の普及啓発、訴
求が求められています。
感謝状を励みに、自衛隊と国民の
架け橋となるべく一層尽くして参り
たいと思います。関係各位に心より
厚く御礼を申し上げます。

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご高覧ください。



数多くの犠牲や災難に思いを
馳せる。あの日を忘れない
— @校区防災訓練
2022.12.4

今日は朝から校区の防災訓練でし
た。ちびっ子からお父さんお母さん、
じっちゃんばっちゃんまで一和気あ
いあいと楽しみつつ「いつか来るそ
の日の恐怖」に対する担保を学びま
した。



子供らにとり初の救護訓練

安政南海地震から168年。伊勢
湾台風から63年。そして東日本大
震災からもうすぐ12年。戦争の話
もそうですが、世代交代と人々の記
憶による風化は最大のリスクです。
今、目の前にあるインフラやサー
ビス・コミュニティや制度は、僕ら
の両親、祖父母、先人が「未来の子
孫が困らないように」という思いゆ

えに存在するものです。

先人が被った数多くの犠牲、災難を
汲み取り、自分と大切な人を如何に
守ることが出来るのか。そしてまた
その想いを如何にしてまだ見ぬ未来
の子孫へ繋いで行けるのか。先人が
僕らにしてくれたことを、今度は我
々がして行かねばならないと、そう
思います。

何はともあれ日曜の長丁場、皆さ
ん本当にお疲れ様でした！



コロナ禍前の半数、400名の参加

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご高覧ください。



【3年振り】自衛隊の皆さん
との合同清掃、大盛況でし
た！ @豊橋陸軍墓地
2022.11.1

参加人数は過去最高の110人。
感謝と喜びの気持ちで胸がいっぱい
です。主な参加者は、豊川駐屯地の
矢野司令(駐屯地のトップ)始め3
等陸佐以上の高級幹部の皆さん。陸
自OBの皆さん。元陸軍将校の方。
そして僕ら清掃奉仕会のメンバーで
した。駐車スペースに限りがあり、
乗り合わせをお願いしていたところ
：陸自の皆さんはなんと自衛隊車両
で来訪。しかも全員戦闘服。これは
初めての事です。
彼ら陸上自衛隊は、この地に祀ら

草木刈り、磨いてきれいに
豊橋陸軍墓地の清掃と慰霊祭
奉仕会など110人が参加



毎回数回の新聞に(右は東愛知新聞)

れる御英霊(戦没された旧陸軍将兵
軍属)の「後輩」に当たります。祖
国防衛の防人(さきもり)として、
その勇姿、慰霊顕彰の想いを雲上よ
り目にし、きつとさぞお喜びのこと
と、そう思います。



過去最高の参加者数

ご参加頂きました皆様は無論、竹
上裕子県議、根本幸典代議士秘書、
隊友会の山田会長を始め、事前調整
や準備にお力添え頂きました皆様。
衷心より御礼を申し上げます。

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご高覧ください。



地域は地域の人々で守る—
青パト出発式@豊橋市役所
2022.12.14

今日は豊橋市役所にて青パト隊出
発式でした。例年、年末年始の特別
警戒に向けて行われるもので、豊橋
署長と市長より訓示を頂きました。
当市の青パト隊は、全52小学校
区のうち21校区に設置されており
何れも自治会や防犯協会に於ける有
志のボランティア活動です(県警へ
の申請、講習が必要です)



出発式では校区外を巡回

37万人を擁する中核都市の防犯
活動、豊橋署の規模では細やかな活
動をカバーし切れていないのが現状
と受け止めています。地域は地域の
人々で守る—共働いと核家族は増え
近所の人の顔を知らないという人も
多い現代です。防災もそうですが、
人々の安心安全を担保するには、地
域コミュニティの絆や自助共助への
意識を共有し、強化、拡大すること
が喫緊課題と考えます。
むかし地域の防災防犯を担った自
警団や消防団は今、圧倒的な人手不
足です。自治会や青パトと共に、時
代に則したあり方を模索しつつ、行
政にあつては柔軟且つ心強いフォロ
ーを求めて行きたいと思えます。

続きや詳細は
QRコードのリンク
先でご高覧ください。



気がつけば年の瀬—正に混
沌を極めた年でした
2022.12.31

気がつけば年の瀬、残り数時間で
す。今日も朝から神社で歳旦祭準備
元旦夕方まで寝ずのご奉仕です。
今年も本当に様々なことがありま
した。幸せなことも、辛いことも。
出会いがあり、別れも。そのひとつ
ひとつ、全てが大切な出来事です。
世界に目を向ければ、正に混沌を極
めた本年。対して極めてミクロな場
所で、ちっぽけな自分に一体何が出
来るのか。藻掻き、考え続けた一年
でした。



年末年始は氏神様でご奉仕

3年続いた世界的パンデミックと
いう名の騒動に掻き回され、片やロ
シア・ウクライナ戦争の悲劇。それ
らに伴う世界的な食料、燃料、物資
の不足。我が国の自給率の現実。市
も県も国も世界も、全てが複雑に繋
がりあっていることを改めて痛感。
来年は兎年ですね。長らく続いた
困難から大きく飛躍し、万民にとり
安寧な年を迎えられるよう心より祈
念すると共に、僅かでも貢献できる
者となれるよう精進して参ります。

後援会員募集

古山よしはる後援会では希望あふれる豊橋を志すため
積極的に会員を募集しています。市民の声を市政へ—



(申込ページ)

申込方法：
左記 QR コードをスマートフォンで
読み込んで申込ページへ。またはメールで
「氏名・生年月日・住所・電話番号」を
info@furuyama4486.jp
までご送信ください。

古山 由晴 (ふるやま よしはる)
1980年生 東京都出身・2004年から豊橋市在住。
高校中退、高卒認定を経て法政大法学部(在学)
根本幸典事務所 ▶ 森重造園土木(株) 専務取締役
自民党員・自衛官募集相談員・商工会議所青年部
豊橋陸軍墓地清掃奉仕会・防災士・氏子総代
その他来歴はHPをご覧ください！検索 ▶「古山よしはる」



くらしと絆を守り、郷土の価値と誇りを高める。数えきれない「ありがとう」を未来へ—